

## Ⅲ 調査結果②【生活機能等の評価】

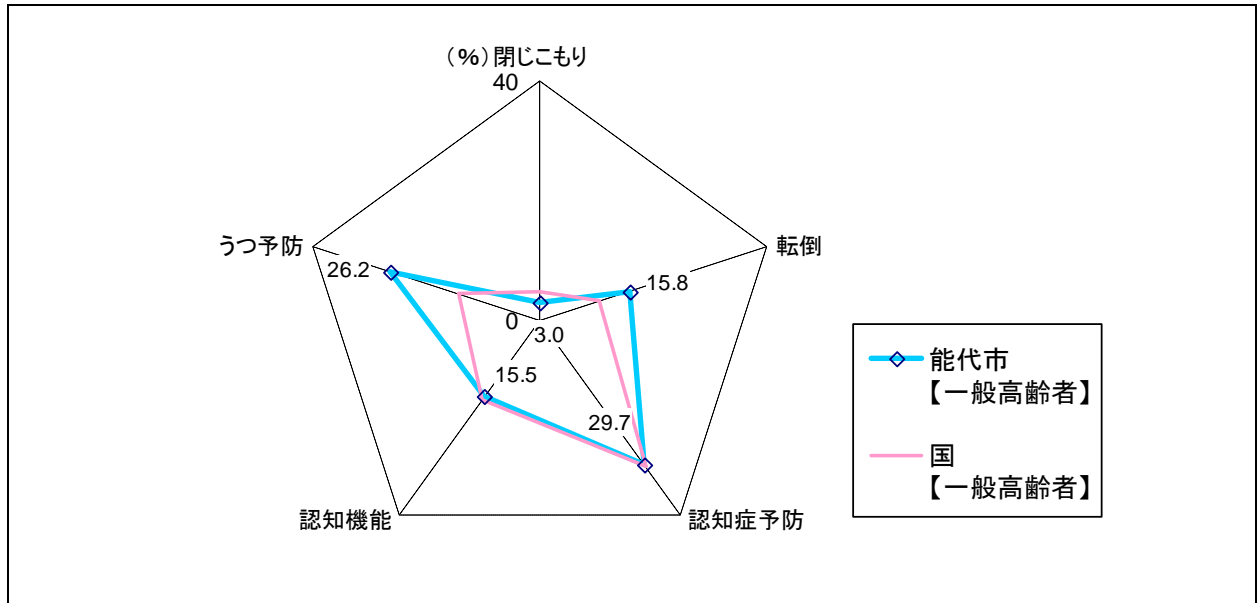


## 1 一般高齢者の評価結果

### (1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

< リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 >

#### ●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【一般高齢者】



(数値単位：%)

	能代市 (一般高齢者)		国 (一般高齢者)
		国との比較	
運動器	-	—	-
閉じこもり	3.0	低い(良)	4.7
転倒	15.8	高い(悪)	10.5
栄養	-	—	-
口腔	-	—	-
認知症予防	29.7	低い(良)	30.2
認知機能	15.5	低い(良)	16.2
うつ予防	26.2	高い(悪)	14.1
虚弱	-	—	-

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

※「運動器」、「栄養」、「口腔」、「虚弱」については、一般高齢者すべて非該当。

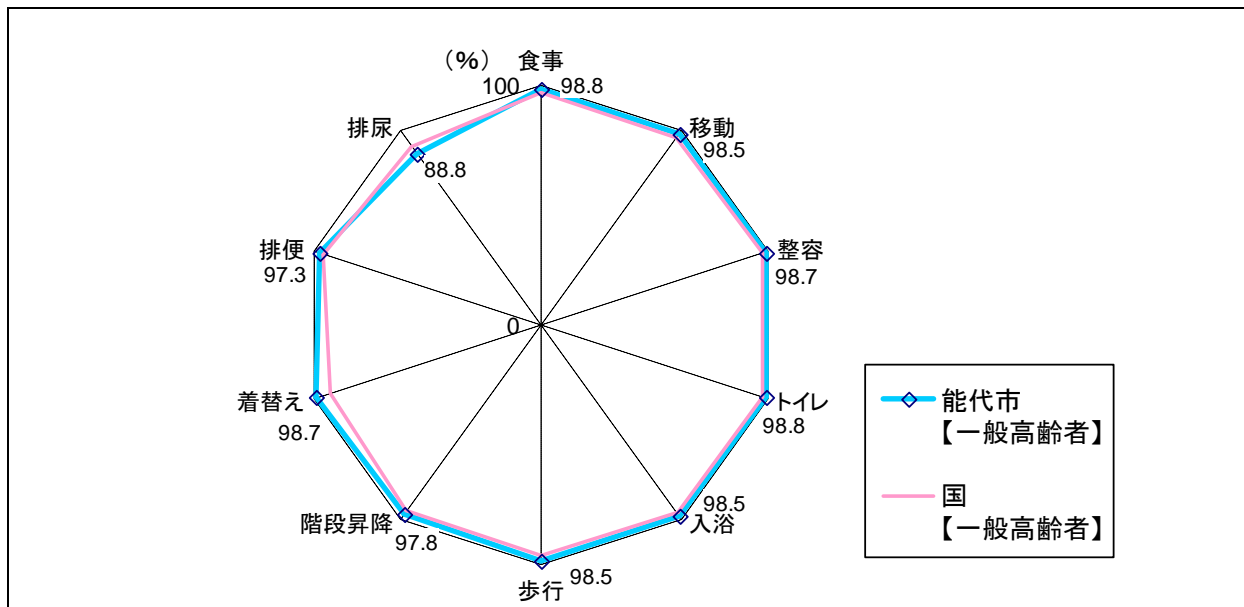
(いずれかに該当すれば二次予防対象者となるため。)

能代市の一般高齢者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の数値と比較してみると、「転倒」、「うつ予防」については国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっていることが分かる。

(2) 日常生活動作 (ADL) の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADL評価項目別自立者割合 (能代市と国の比較) 【一般高齢者】



(数値単位 : %)

	能代市 (一般高齢者)		国 (一般高齢者)
	数値	国との比較	数値
食事	98.8	高い(良)	96.9
移動	98.5	高い(良)	96.5
整容	98.7	高い(良)	97.3
トイレ	98.8	高い(良)	97.3
入浴	98.5	高い(良)	97.2
歩行	98.5	高い(良)	96.3
階段昇降	97.8	高い(良)	95.7
着替え	98.7	高い(良)	92.4
排便	97.3	高い(良)	95.4
排尿	88.8	低い(悪)	92.0

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

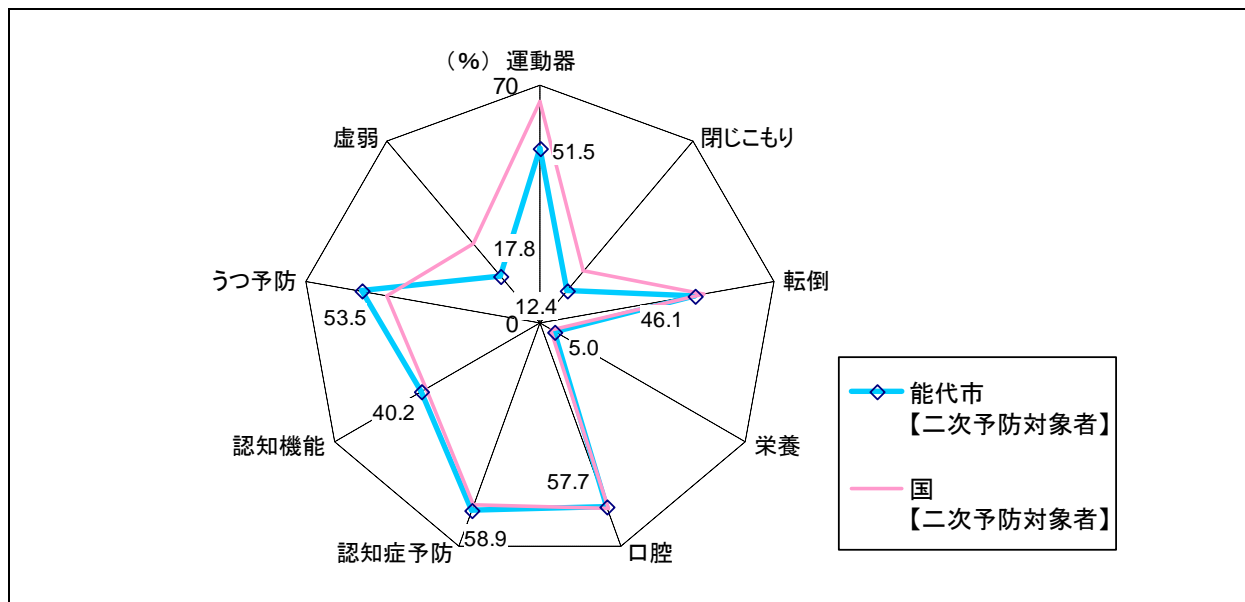
能代市の一般高齢者について、日常生活動作 (ADL) の評価項目別の自立者割合を国の数値と比較してみると、「排尿」を除く9つの項目で国の数値を上回っており、総じて、日常生活動作の側面で自立可能な高齢者の割合は国の水準よりも高いことが分かる。

## 2 二次予防対象者の評価結果

### (1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

< リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 >

#### ●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【二次予防対象者】



(数値単位：%)

	能代市 (二次予防対象者)		国 (二次予防対象者)
	数値	国との比較	数値
運動器	51.5	低い(良)	65.4
閉じこもり	12.4	低い(良)	19.9
転倒	46.1	低い(良)	48.9
栄養	5.0	高い(悪)	3.6
口腔	57.7	低い(良)	58.4
認知症予防	58.9	高い(悪)	57.2
認知機能	40.2	高い(悪)	38.7
うつ予防	53.5	高い(悪)	45.6
虚弱	17.8	低い(良)	30.6

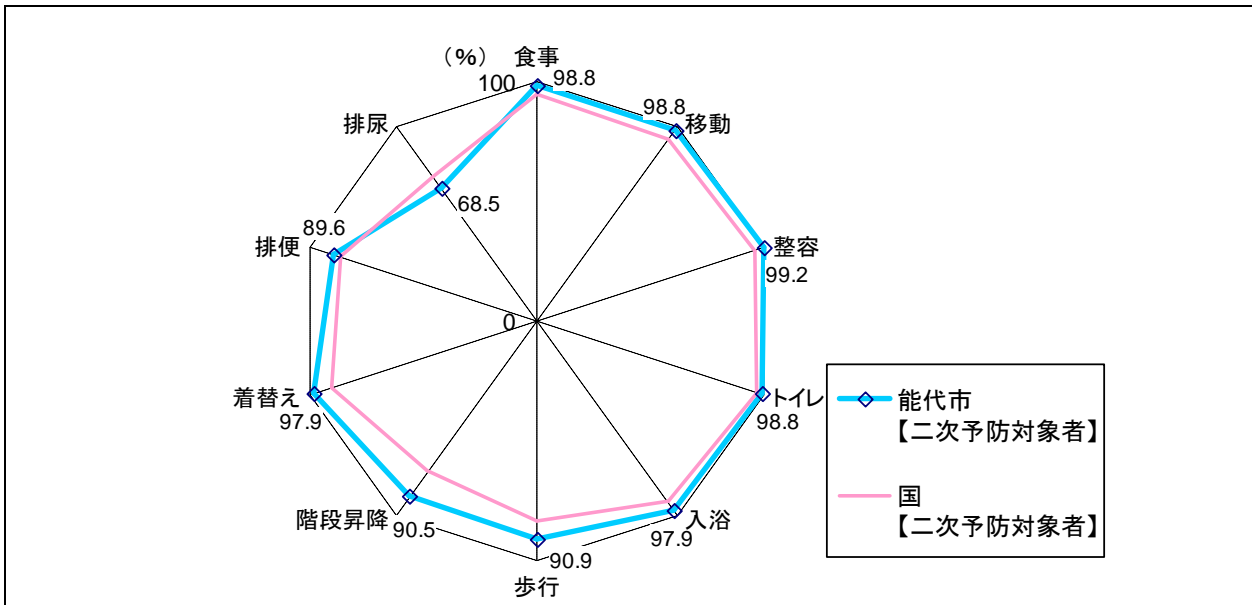
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の二次予防対象者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の数値と比較してみると、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」、「うつ予防」については、国の水準よりもリスク該当者割合が高いことが分かる。

(2) 日常生活動作 (ADL) の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADLの状況<評価項目別自立者割合> (能代市と国の比較) 【二次予防対象者】



(数値単位：%)

	能代市 (二次予防対象者)		国 (二次予防対象者)
		国との比較	
食事	98.8	高い(良)	94.8
移動	98.8	高い(良)	94.2
整容	99.2	高い(良)	95.6
トイレ	98.8	高い(良)	95.9
入浴	97.9	高い(良)	93.2
歩行	90.9	高い(良)	83.6
階段昇降	90.5	高い(良)	77.8
着替え	97.9	高い(良)	89.9
排便	89.6	高い(良)	86.1
排尿	68.5	低い(悪)	74.1

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

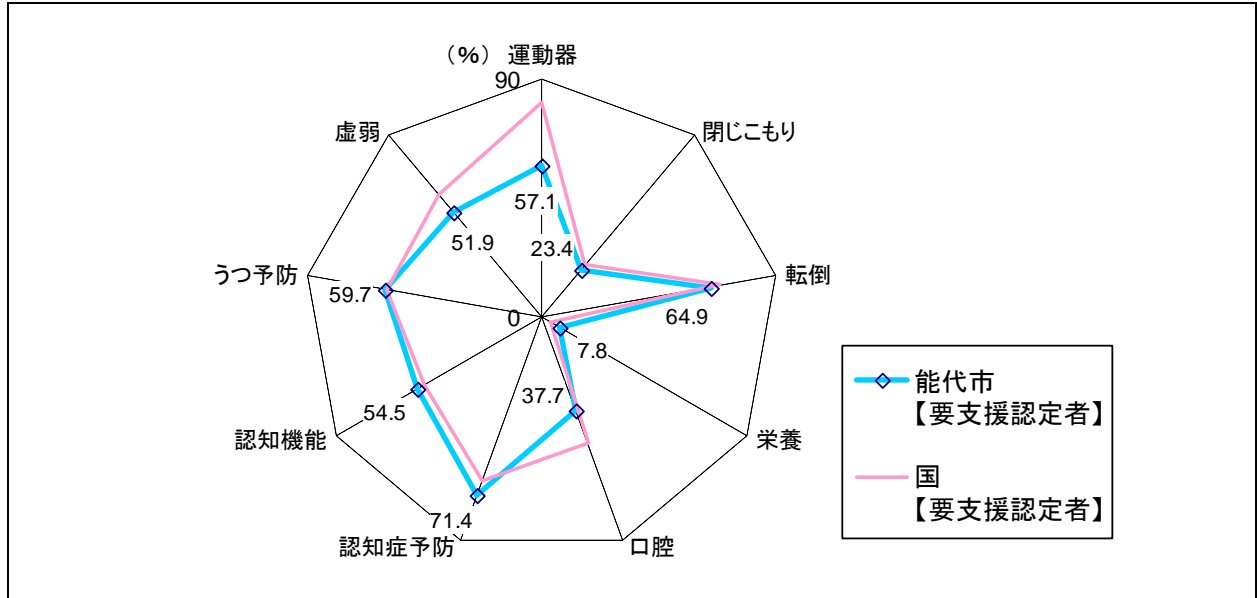
能代市の二次予防対象者について、日常生活動作 (ADL) の評価項目別の自立者割合を国の数値と比較してみると「排尿」を除く9つの項目で国の数値を上回っており、総じて、日常生活動作の側面で自立可能な二次予防対象者の割合は国の水準よりも高いことが分かる。

### 3 要支援認定者の評価結果

#### (1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

< リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 >

#### ●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【要支援認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要支援認定者)		国 (要支援認定者)
	国との比較		
運動器	57.1	低い(良)	80.8
閉じこもり	23.4	低い(良)	26.2
転倒	64.9	低い(良)	68.8
栄養	7.8	高い(悪)	3.9
口腔	37.7	低い(良)	50.9
認知症予防	71.4	高い(悪)	65.8
認知機能	54.5	高い(悪)	51.2
うつ予防	59.7	高い(悪)	59.5
虚弱	51.9	低い(良)	61.0

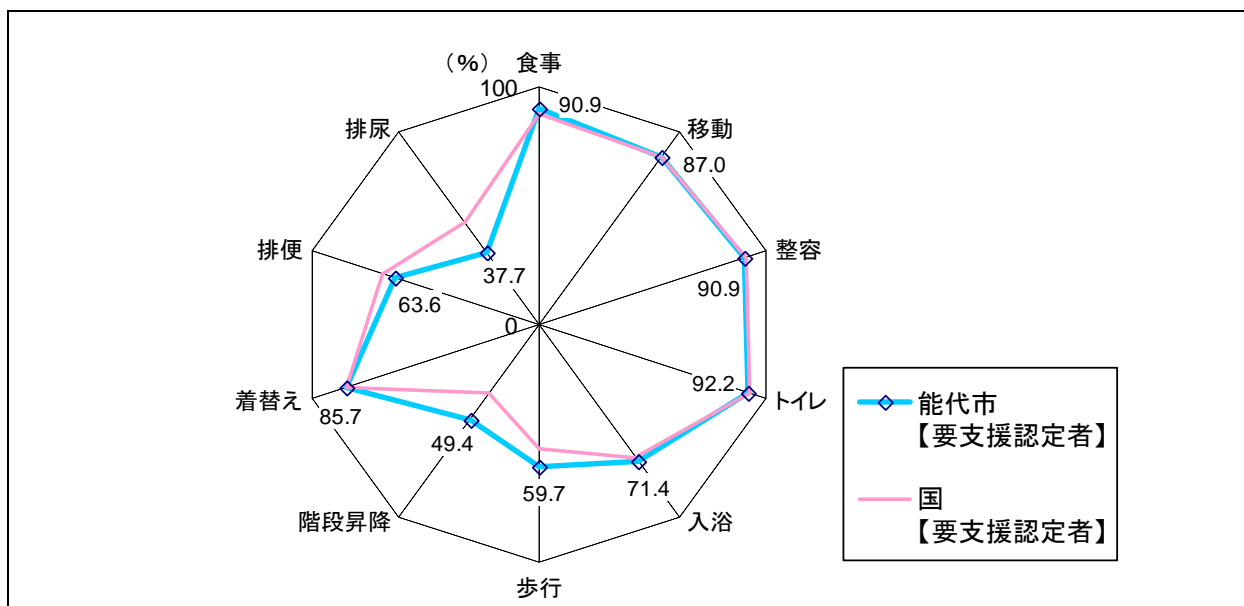
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要支援認定者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の「要支援認定者」の数値と比較してみると、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」、「うつ予防」の項目において、国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっている。一方で、「運動器」については、国のリスク該当者割合をかなり下回る数値を示している。

(2) 日常生活動作 (ADL) の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADLの状況<評価項目別自立者割合> (能代市と国の比較) 【要支援認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要支援認定者)		国 (要支援認定者)
	数値	国との比較	数値
食事	90.9	高い(良)	88.7
移動	87.0	高い(良)	86.8
整容	90.9	低い(悪)	91.7
トイレ	92.2	低い(悪)	93.4
入浴	71.4	高い(良)	69.1
歩行	59.7	高い(良)	52.0
階段昇降	49.4	高い(良)	35.6
着替え	85.7	高い(良)	85.6
排便	63.6	低い(悪)	68.8
排尿	37.7	低い(悪)	52.9

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要支援認定者について、日常生活動作 (ADL) の評価項目別の自立者割合を国の「要支援認定者」の数値と比較してみると、10項目中6項目では国の数値を上回るものの、「整容」、「トイレ」、「排便」、「排尿」については自立可能な要支援認定者の割合は国の水準よりも低くなっている。

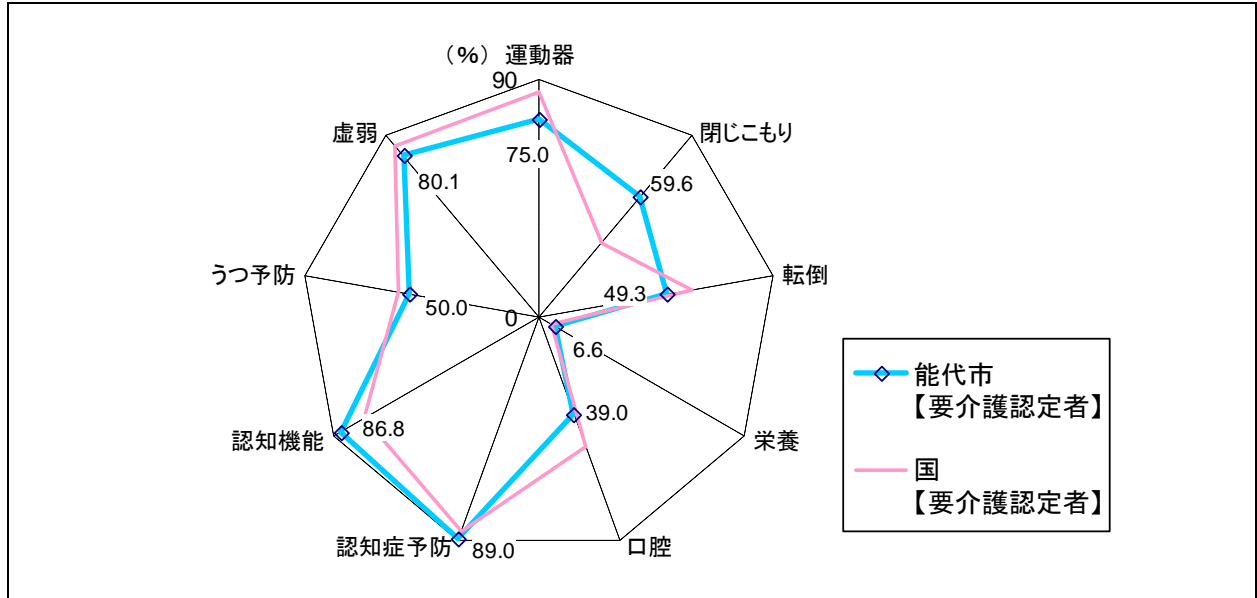


## 4 要介護認定者の評価結果

### (1) 生活機能項目別のリスク該当者割合

< リスク該当者割合… 高い方が「悪い」指標 >

#### ●生活機能項目別リスク該当者割合（能代市と国の比較）【要介護認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要介護認定者)		国 (要介護認定者)
		国との比較	
運動器	75.0	低い(良)	85.0
閉じこもり	59.6	高い(悪)	37.1
転倒	49.3	低い(良)	58.8
栄養	6.6	高い(悪)	5.5
口腔	39.0	低い(良)	52.3
認知症予防	89.0	高い(悪)	86.3
認知機能	86.8	高い(悪)	76.4
うつ予防	50.0	低い(良)	53.7
虚弱	80.1	低い(良)	84.5

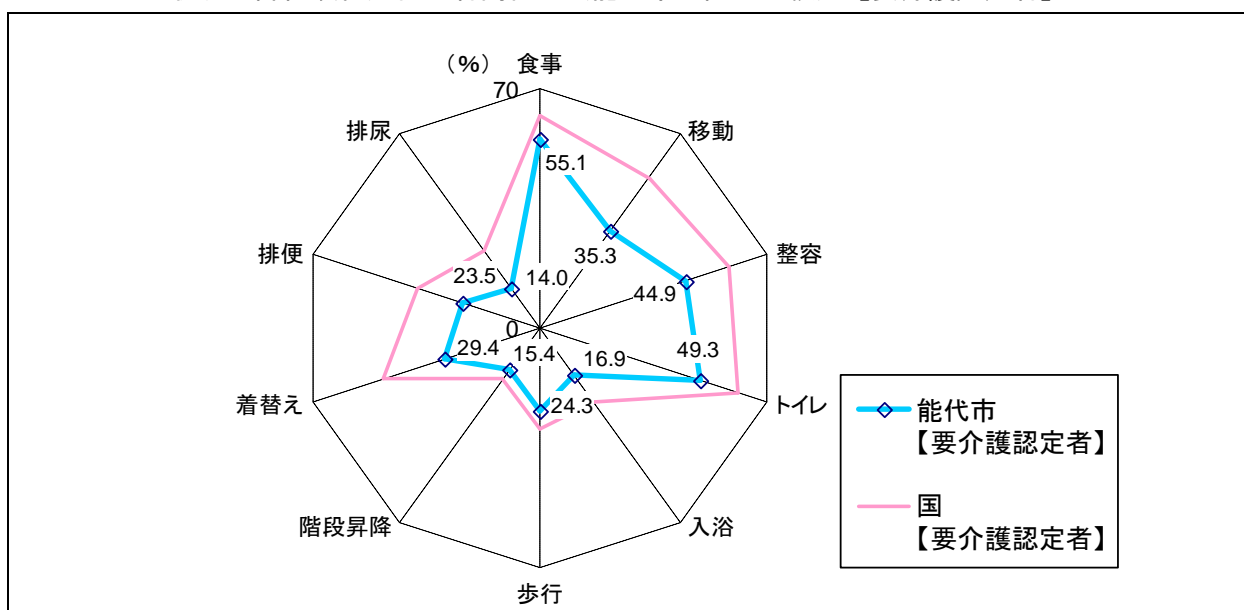
※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要介護認定者について、生活機能項目別のリスク該当者割合を国の「要介護認定者」の数値と比較してみると、「閉じこもり」、「栄養」、「認知症予防」、「認知機能」の各項目において、国の水準よりもリスク該当者割合が高くなっている。

(2) 日常生活動作 (ADL) の状況

< 自立者割合… 高い方が「良い」指標 >

● ADLの状況<評価項目別自立者割合> (能代市と国の比較) 【要介護認定者】



(数値単位：%)

	能代市 (要介護認定者)		国 (要介護認定者)
		国との比較	
食事	55.1	低い(悪)	62.3
移動	35.3	低い(悪)	54.2
整容	44.9	低い(悪)	57.8
トイレ	49.3	低い(悪)	61.1
入浴	16.9	低い(悪)	26.7
歩行	24.3	低い(悪)	29.4
階段昇降	15.4	低い(悪)	18.6
着替え	29.4	低い(悪)	47.9
排便	23.5	低い(悪)	37.3
排尿	14.0	低い(悪)	28.1

※国の数値は「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」より

能代市の要介護認定者について、日常生活動作 (ADL) の評価項目別の自立者割合を国の「要介護認定者」の数値と比較してみると、すべての項目において国の数値を下回っており、総じて、自立可能な要介護認定者の割合は国の水準よりも低くなっている。